

2023年度事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

1. 概要

2023年2月3日開催の第42回理事会で決議された2023年度(2023年4月～2024年3月)事業計画に基づき、バイオサイエンス分野の研究者に対する研究助成、国際交流助成及び学会等開催助成などの諸事業を予定どおり実施した。

2. 年間の経緯 (2023年4月～2024年3月)

2023年

- | | | |
|-----|-----|---|
| 4月 | 13日 | 会計・業務監査 |
| 5月 | 11日 | 第43回理事会(決議の省略による方法)文書発信。決議日 5月15日 |
| 5月 | 18日 | 第18回評議員会招集
第44回理事会招集 |
| 6月 | 2日 | 第18回評議員会 ハイブリッド開催(於:如水会館)
第44回理事会 ハイブリッド開催(於:如水会館) |
| 6月 | 30日 | 役員変更登記 |
| 6月 | 30日 | 2022年度事業報告及び決算書類提出(内閣府、電子申請) |
| 6月 | 30日 | 役員変更届提出(内閣府、電子申請) |
| 7月 | 1日 | 第35回国際交流助成(下期)募集開始(8月31日締切)
第35回研究助成募集開始(9月30日締切) |
| 9月 | 下旬 | 第35回国際交流助成(下期)選考 |
| 11月 | 1日 | 第35回学会等開催助成募集開始(11月30日締切) |
| 11月 | 20日 | 第14回研究助成報告交流会 ハイブリッド開催(於:大手町サンケイプラザ) |
| 12月 | 27日 | 第35回研究助成選考委員会、第35回学会等開催助成選考会 ハイブリッド開催
(於:如水会館) |

2024年

- | | | |
|----|----|--------------------------------|
| 1月 | 4日 | 第36回国際交流助成(上期)募集開始(2月29日締切) |
| 2月 | 2日 | 第46回理事会 ハイブリッド開催(於:KKRホテル東京) |
| 3月 | 1日 | 第35回研究助成贈呈式 ハイブリッド開催(於:如水会館) |
| 3月 | 下旬 | 第36回国際交流助成(上期)選考 |
| 3月 | 6日 | 2024年度事業計画書及び収支予算書提出(内閣府、電子申請) |

3. 事業

(1) 助成事業

2023 年度助成事業のまとめ (2022 年度対比)

事業名	応募件数		助成件数		採択率(%)		予算(万円)		実績(万円)	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
研究助成	184	160	31	31	16.8	19.4	6,200	5,700	6,100	6,000
メディカルサイエンス	119	110	19	20	16.0	18.2	3,800	3,800	※4,000	4,000
バイオテクノロジー	53	43	8	8	15.1	17.8	1,900	1,600	1,600	1,600
環境バイオ	12	7	4	3	33.3	42.9	500	300	※500	※400
国際交流助成	89	27	39	17	43.8	63	980	200	※940	415
上期	33	5	18	5	54.5	100	480	0	※480	130
下期	56	22	21	12	37.5	55	500	200	※460	※285
学会等開催助成	42	40	17	20	40.4	50	400	300	400	390

注 1) メディカルサイエンス：2023 年度※4,000 万円は増額 100 万円(優秀賞)2 名分を含む

注 2) 環境バイオ：2023 年度※500 万円、2022 年度※400 万円は、各々増額 100 万円(優秀賞 1 名)を含む

注 3) 2023 年度国際交流助成：※他研究資金との重複助成調整や余剰金返還等の結果

1) 研究助成

3 つの募集区分に対して7月初めから 9 月末まで募集した結果、前年度より約 10%~20%増の計 184 名の応募があった。環境バイオ分野(奨励研究)では事業開始 5 年目で初めて応募数が 2 桁となった。

また、女性研究者の応募は全体で 39 名で、前年度 17 名から倍増となった(両年以外は例年 30 名弱)。選考委員会答申に基づく理事会審議を経て、全 31 名に研究助成(うち、奨励研究 4 名)を行った。

また、成績優秀者に対する助成金増額の運用(+100 万円/優秀賞)を、前年度の環境バイオ分野に続いてメディカルサイエンスとバイオテクノロジーの両分野においても開始し、環境バイオ 1 名とメディカルサイエンス 2 名が増額対象となった。なお、全体の採択率は約 16.8%となった。

2) 国際交流助成

上期(募集期間 1-2 月)は 33 名の応募があり、18 名に計 480 万円の助成を行うこととした。

下期(同 7-8 月)は、目標としていたコロナ前の水準(40 名前後)を大幅に上回る 56 名の応募があり、採択率をコロナ前の水準(40%弱)に引き下げて 21 名に計 500 万円の助成を行うこととした。

その後、他研究資金との重複助成調整や余剰金返還等の結果、実績額は 460 万円に減額となった。

その結果、助成額は上期 480 万円、下期 460 万円となり、年間予算 980 万円に対し実績 940 万円となった。なお、上・下期ともに正副選考委員長による選考会答申に基づいて理事長決裁されている。

3) 学会等開催助成

11月の一ヶ月間募集したところ、前年度の40件に対して42件の応募があった。

正副選考委員長による選考会答申に基づく理事会審議を経て、予算400万円に対し、30万円10件、20万円3件、10万円4件の合計17件/400万円の助成を行った。各助成額は選考時の成績順に割り振った。

(2) 第14回研究助成報告交流会

2023年11月20日(月)に大手町サンケイプラザ(ハイブリッド形式)にて開催した。第32回(2020年度)の助成者等による口頭発表が行われ、財団役員・選考委員・外部関係者等46名が参加し活発な質疑応答が行われた。報告会の後は交流会を開催し、助成者や参加者間の情報交換等を行った。

(4) 第35回研究助成贈呈式

本年度の研究助成贈呈式を2024年3月1日に如水会館(ハイブリッド形式)にて開催した。選考委員長による選考経過報告の後、研究助成受領者一人ひとりに対し、理事長より助成金目録及び記念盾が贈呈された。その後、協和キリン株式会社・宮本昌志社長より来賓祝辞をいただいた。引き続き、2名の選考委員による下記の特別講演が行われた。

- 1) 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 滝川 浩郷
「多面的な天然物合成を目指して」
- 2) 京都大学大学院医学研究科 教授 竹内 理
「mRNAの制御と免疫・炎症」

参加者は、助成受領者は31名中30名(代理出席1名含む/全員現地参加)、全体ではオンライン参加者含めて64名であった。

式典終了後、会場を移してポスターセッション形式で助成受領者による研究計画発表会後、立食形式の祝賀会を行った。

(5) 年報の発行

2023年9月30日付けで2022年度年報(第24号)を300部作成し、関係者へ配布した。また財団ホームページから概略版を公開したほか、国会図書館にも納本した。

(6) パンフレット更新

今年度の財団紹介パンフレットを450部印刷し関係各所に配布した。また、ホームページでPDF版を公開した。

4. 理事会

定例理事会 2 回と臨時理事会 2 回を下記のとおり開催し、各理事会の議案は全て承認された。

(1) 第 43 回理事会(定例／決議の省略による方法)

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

提案者	理事 小池正道
決議日	2023 年 5 月 15 日(月)
議事録作成者	理事 石田浩幸
同意書	理事 9 名全員、監事 2 名全員(異議ないことを証する書類)
審議事項	①2022 年度(2022 年 4 月～2023 年 3 月)事業報告及び収支決算報告 ②評議員の選任 ③理事の選任 ④第 18 回評議員会の開催内容

(2) 第 44 回理事会(臨時)

日程	2023 年 6 月 2 日(金)
場所	如水会館(※ハイブリッド形式)
出席者	理事 10 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ① 第 18 回評議員会審議結果 ② 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 ③ 第 43 回理事会報告事項(再掲)
	審議事項 ① 代表理事の選任 ② 「名誉理事」称号の贈呈

(3) 第 45 回理事会(臨時)

日程	2023 年 10 月 31 日(火)
場所	協和キリン株式会社 東京リサーチパーク WING 棟第 1 会議室 (※ハイブリッド形式)
出席者	理事 9 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	審議事項 ① 2023 年度収支補正予算案

(4) 第 46 回理事会(定例)

日程	2024 年 2 月 2 日(金)
----	-------------------

場所	KKR ホテル東京(※ハイブリッド形式)
出席者	理事 8 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ① 第 35 回国際交流助成(下期)助成者 ② 2022 年度年報(第 24 号)発行 ③ 第 14 回研究助成報告交流会 ④ 基本財産の運用 ⑤ 2023 年度決算見込み ⑥ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 ⑦ 事務局トピックス ⑧ 今後のスケジュール、その他 審議事項 ① 第 35 回研究助成受領者の選出 ② 第 35 回学会等開催助成対象団体の選出 ③ 2024～2027 年度選考委員の選出 ④ 2024 年度事業計画案 ⑤ 2024 年度収支予算案

5. 評議員会

定例評議員会 1 回を下記のとおり開催し、全議案は承認された。

(1) 第 18 回評議員会(定例)

日程	2023 年 6 月 2 日(金)
場所	如水会館(※ハイブリッド形式)
出席者	評議員 6 名、監事 2 名、理事長、常務理事、事務局長
主な議題	報告事項 ① 2023 年度事業計画及び収支予算 ② 第 41 回理事会報告事項 ③ 第 41 回理事会決議事項 ④ 第 42 回理事会報告事項 ⑤ 第 42 回理事会決議事項 ⑥ 第 43 回理事会報告事項 ⑦ 第 43 回理事会決議事項 審議事項 ① 2022 年度(2022 年 4 月～2023 年 3 月)事業報告及び収支決算報告 ② 評議員の選任

- ③ 評議員会長の選任
- ④ 理事の選任

6. 管理業務

(1) 寄附金受入

2023年4月、協和キリン株式会社より2023年度運用財産(事業費及び管理費)として7,200万円の寄附を受領した。

(2) ホームページの改訂

各助成対象者について、歴代助成者名簿と共にホームページで公開した。

また財団年報ならびにパンフレットをホームページに掲載した。印刷版の年報には研究助成報告書の全文ならびに国際交流助成の学会参加報告書に掲載し、ホームページでは研究助成報告書は400字程度の概要のみの掲載とし、学会参加報告書は掲載していない。

財団理事・評議員12名から「若手研究者へのメッセージ」と題して、自身の経験や研究に対する思いなどを書いていただきホームページ上で公開している。

(3) 研究助成の広報

公募時に各種広報活動を行った。

1) 募集広告掲載

➤ 専門誌

「実験医学」2023年※7月号 羊土社 ※電子版:6/20 閲覧開始

➤ ホームページなど

「JSTポータルサイト掲載」、「日本生物工学会及び日本農芸化学会:HP掲載」、「環境バイオテクノロジー学会:HP掲載および ※会員向け周知」(※事務局から展開して頂いた)

2) 募集のダイレクトメール発信

300を超える大学や公的研究機関の窓口に発信(7/13-15)した他、環境バイオ分野の有力研究室を率いる先生方100名強にも直接メール案内を行った(7/16)。

3) 当財団助成者・助成団体経由によるPR活動

①研究助成:直近3回の助成者91名にメール発信し、同僚研究員や知人への直接的なPR(口コミ等)を依頼した(8/4-5)。②学会等開催助成:直近3回の助成団体・代表者51名にメール配信し、主催学会等の会員・参加者(若手研究者)向けにPRを依頼した(8/9)。

(4) 債券等情報の収集と検討

基本財産の運用管理のため、証券会社5社から債券市場に関する情報を得た。今期は、満期償還となった債券2本及び2023年3月に満期償還となった債券1本の再投資として、6月と9月に計3本/3億

円の債券を購入した。購入に際しては、財団両監事や協和キリン社財務経理部と事前相談を行い、満期（次回再投資時期）の分散などリスクヘッジにも十分に考慮し、証券会社 5 社から提案を得た上で購入先を選定した。なお、結果的に期限前償還となった債券はなかった。

7. 人の異動

(1) 理事（敬称略）

小池正道 辞任(2023年6月2日付)、同日付で理事長退任
三箇山俊文 就任(2023年6月2日付)、同日付で理事長就任

(2) 評議員（敬称略）

反町典子 評議員就任(2023年6月2日付)
高津聖志 評議員退任(2023年6月2日付)

(3) 選考委員（敬称略）

大塚基之、尾畑やよい、葛山智久、竹内理 選考委員就任(2023年4月1日付)
大西 康夫、幸谷 愛、佐々木 えりか、濱崎 洋子 選考委員退任(2023年3月31日付)
(参考)
菅波孝祥、武田憲彦、林香、日比正彦、政井英司 選考委員就任(2024年4月1日付)